

第204号 発行日 平成26年1月6日

合格通信

今月の名言

人間にとって最も大切な努力は、自分の行動の中に道徳を追求していくことです。

—アインシュタイン—
(ノーベル物理学者)

新年あけましておめでとうございます。本年もお子様の学力向上に向けスタッフ一同身を引き締めて精進していく所存です。本年もよろしくお願いたします。

集中力を上げる方法④

記憶することだけが勉強ではない、頭から出すことも練習が必要だ。



多くの人は「勉強すること＝記憶すること」と思っています。でも実際の試験では覚えたことを出さなくてはなりません。つまり記憶することと、思い出すという2つが必要です。しかし多くの受験生は記憶することばかりに気持ちが言って、大事なときに思い出す訓練をしません。学校の先生もほとんど教えてくれません。とても大切なことなので、ここで教えておきます。

まず1つは、「言葉で説明を言いながら勉強する」といことです。そしてその言葉をきっかけに思い出すことができます。例えば、歴史で「1837年大塩の乱」を覚えるときでも、「大阪の陽明学者大塩平八郎が天保の飢饉で奉行所の対応に不満を持ち、300人で大商人を襲った事件」という風に覚えると、「天保の飢饉」や「大阪の陽明学者」といった言葉から思い出すきっかけになります。

もう一つは何でもいいですから、一つにキーワードとなる言葉を選んで、それを紙に書き、それと関連のあるものを連想ゲーム的にどんどん書いていくのです。地理の勉強で「宮城県」なら、米、仙台、松島、伊達政宗、支倉常長、吉野作造・・・これ以上出てこないとなれば終わりです。ほかに歴史なら「織田信長」「徳川家康」など良いワードになります。これを週1~2回やってみてください。思い出す能力が磨かれて、問題を見たときスイスイと頭の中から答えが出てくるようになります。とても役に立つのでぜひやってみてください。